



# SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ  
週報

2015～2016年度 RI会長 K. R. ラビンドラン  
RIテーマ 世界へのプレゼントになろう

クラブテーマ「明るく楽しいロータリー」会長 鈴木政則

副会長 中山和雄 幹事 石井邦夫

## 第1268回 例会 2016.3.11(金)曇

司会:山口辰哉君 指揮:勝又佳員君  
ロータリーソング「我等の生業」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央町ビル2F  
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 ブケ東海三島

TEL.055-984-0120  
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

### 会長挨拶

会長 鈴木政則君

本日はスリウォンロータリークラブの飯田会長がお見えになっていますので、この後お話を頂きたいと思えます。よろしくお願ひします。

さて今日は、良い言葉について少し考えてみたいと思えます。人間は言葉という伝達方法を持つ唯一の動物ですね。なのに、世界に目を向けると、せっかく人間には言葉が与えられているのに、なぜ、物事の決着を戦争や暴力で片付けようとするのか、心が痛みます。現在、日本を取り巻くアジアの国々、特に中国・韓国との間には、過去の歴史・領土問題等いろいろな問題が起きています。言葉の一つを取り上げ、お互いの立場を押し付けている様にも見えます。一つの言葉が相手の気持ちを和ませることもあれば、怒りに震えさせることもあります。人の口から発せられる言葉には、その時の精神状態が大きく反映され、私などもそうですが、心が安定している時は相手の喜ぶ言葉、想いやる言葉を何気なく発しているのに、ひとたび感情が波立っている時などは、相手を傷つけたり、怒らせたりする様な言葉をうっかり発している事もあるものです。まして国と国との外交といった立場での言葉は重く、感情にまかせて発しては大それた事となりましょう。国と国という様な大きな事はさて置き、私達に一番身近かな言葉であり、人の気持ちを左右するのは、やはり「あいさつ」ではないでしょうか。お店に行った時など店員から元気良く「いらっしゃいませ」と迎えられたら、教育が行き届いているなど感じるし、販売店ならその質の高さを想像したり、飲食店だったらおいしそうだ、などと思いはプラス思考へ働きます。又、「ご来店ありがとうございます」とか「またのお越しをお待ちしています」という丁寧な言葉で送られれば、また来ようかな、という気持ちにもなるものです。あいさつ一つの教育が店の繁栄を物語っているのです。人が聞いて気持ちの良い言葉、これが大事なのです。言葉はどんな時でも感情に流されず、気持ちを込めて選んで使いたいものです。

### 出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	26/32	81.25%	31/32	96.88%
今回	28/35	80.00%	会員総数	37名

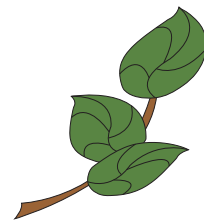
欠席者 あなたが見えなくて残念でした。  
久保君、篠木君、服部君、原君、兵藤君、山口(雅)君、山本君

ようこそせせらぎ三島  
ロータリークラブへ

飯田直樹君(スリウォンRC)  
高原敏廣君(三島RC)

### おめでとう

会員誕生日 3月15日 渡邊照芳君



### 幹事報告

幹事 石井邦夫君

例会変更

伊豆中央RC 3月28日 特別休会  
三島RC 3月30日 特別休会  
三島西RC 3月31日 特別休会



今日は3月11日です。ちょうど5年前の14時46分に東北地方三陸沖でマグニチュード8の大地震が起きました。死者・行方不明者数は18000人以上と記憶しております。震災直後、せせらぎ三島RC有志発起人により支援物資を会員に募り、大型バスの座席を取り外して大量の支援物資を詰め込んで南三陸町に3月26日急ぎ届けました。あれから5年、何度か被災地岩手県大槌町に慰問しました。大分インフラの復興は進んでおります。しかし、私は何度かこのような状況を見てきました。それは通学の為に遠距離を電車で通っているであろう学生が通路にしゃがみんだり、ゴミを散らかし捨てたりする姿です。彼らは何も考えずの行動だと思います。大人・老人の方は大抵の生活ができてますが、子供たち青少年の心がすさんでいるからこそ、この様な行動をしてしまうのではないかと考えます。今後この様な事も思いながら支援の輪を広げたいと考えております。



飯田直樹君(バンコク・スリウォンRC):いつもお世話になっております。今後ともお願いします。

田中錦城君:飯田さん、三島へようこそ！お元気でなによりです。

山田定男君:長泉町パネル展、皆様の協力で無事終了することができました。本日16:00～片付けがあります。時間がある方はお手伝いをお願いします。

石井邦夫君:東日本大震災復興委員会の皆様、長泉町役場のパネル展を見に行っていました。きれいにパネルされていて、他の方も数人見学されていました。ご苦労様でした。

土屋 巧君:申し訳ございません。早退させていただきます。

## ROTARY NEWS

次年度テーマは「人類に奉仕するロータリー」

米国サンディエゴで開催されたロータリー国際協議会で、ジョン F ジャーム会長エレクト(米国テネシー州、チャガヌーガ・ロータリークラブ所属)が講演し、次年度のテーマ「人類に奉仕するロータリー」を発表しました。

ロータリー創始者ポール・ハリスが「人生の最大の目的は人類に奉仕すること」と信じていたことに触れ、ロータリーの一員であることはそのための「大きな機会」だとジャーム会長エレクトは述べます。「ロータリーを通じて社会に貢献する大きな機会、人類へのロータリー奉仕を通じてより良い世界を築く機会なのです」

発展途上地域におけるきれいな水の提供、紛争地域での平和推進、基本的教育と識字率向上を通じた人びとのエンパワメントなど、世界中のロータリー会員はさまざまな奉仕活動にあたっています。その中でも特に重要なのがポリオの撲滅であると強調した会長エレクトは、ナイジェリアとアフリカ全土における野生型ポリオウイルスの感染抑止という昨年の歴史的できごとにも触れました。ナイジェリアがポリオ常在国リストから除外された現在、常在国はアフガニスタンとパキスタンのわずか2カ国。ポリオが撲滅されれば、人類史上撲滅された病としては天然痘に続き2番目となります。

「ロータリーは今、岐路に立っています。来年度は、世界で最後のポリオ症例が報告される年となるかもしれません。そうなれば、ロータリーの歴史において最も重要な年となります」とジャーム氏。いずれポリオ撲滅が実現したときについて、今から準備しておくことが極めて重要だと訴えます。「ポリオ撲滅におけるロータリーの貢献を十分認識してもらうにはどうしたらいいか。この成功を、その後数十年にわたって、他団体との協力、会員増強、より野心的な奉仕活動にどうつなげていくか、ということです」

さらに、出席したガバナーエレクトに向け、ポリオ撲滅でロータリーが果たした役割についてクラブと地域社会で情報を広げるよう呼びかけました。「社会貢献をしたい人たちが、ロータリー入会こそが世界を変える方法だと考えるようにすること。そのためには、クラブにその機会を提供する用意がなければならないのです」

ロータリーのイメージ向上だけが会員増強の方法ではない、と会長エレクト。「ロータリーがさらに前進するには、意欲と思いやりと知恵にあふれた人たちがもつと必要です。若い人たち、退職後間もない人たち、現役で仕事している人たちが皆、ロータリーに入会して活動したいと感じるような、柔軟性のあるクラブが必要なのです」